

J-MCP Summer 2022 Programs FAQ

<申込みについて>

No.	質問	回答
1	J-MCP Summer 2022 Programs の3つのコース（21世紀スキル、ビジネスとSDGs、ダイバーシティ&インクルージョン）どれに参加するか迷っています。	所属学部に関連したコースを選ぶことによって学びを深めることもいいですし、学部とは異なるコースを選ぶことで知見を広げられる機会にもなると思います。申し込み書では、第2希望まで申し込めるようにしています。
2	参加費はいくらかかりますか。	無料です。
3	プログラム参加にあたり、事前に準備しておく物がありますか？	オンライン会議ツールを利用するための準備は各自で行ってください（ヘッドセット、Wi-Fi環境等）。本プログラムに参加するためには、カメラとマイクのあるPCとインターネット環境が必要不可欠です。 参加前に英語に触れておきたいという方は、Mi-Roomの英語セッションやイベントへの参加をお勧めします。 Mi-Room ウェブサイト
4	外国語要件の「CEFR B2程度」は、具体的にどのようなスコアが必要ですか。	GTEC 215+、TOEFL ITP 450+、TOEFL iBT 45+、TOEIC 440+を想定しています。また、スコアが不足していても、自身のコミュニケーション能力で乗り越える強い意思があればチャレンジしてみてください。
5	外国語検定試験のスコア証明書の提出は必要ですか。	証明書の提出は必要ありません。
6	「COILという教育手法を用いて、日本にいながらにしてオンラインで世界各国の学生と繋がり、英語を共通言語として学んでいくプロジェクト型学習プログラム」とありますが、どんな学生との協働学習ですか。	関西大学やIIGEと協定を結んでいる、世界各国の大学に学生募集をしています。参加する可能性のある機関については、下記をご参照ください。 関西大学協定校一覧 IIGEパートナー大学 UMAP協定校
7	どのように参加者が決められますか。面接や志望理由書の提出など選考はありますか。	英語エッセイ（100～300字程度）を申込フォーム上で入力してください。その後、英語による面接（10分程度）を予定しています。面接では聞き取りができていないか、準備している内容を話せるか、前向きな姿勢等を見ているので面接までの間、スピーキングの練習などされることをお勧めします。
8	申し込み締め切りはいつですか？	2022年6月1日（水）正午 です。
9	選考結果はいつわかりますか？	2022年6月30日（木）までにメール でお知らせします。申し込み時に登録されたメールアドレスにメール配信しますのでご確認ください。
10	このプログラムに参加するとどんな能力が身に付きますか？	世界各国から集まる仲間と協力し共同で学習することによって、英語だけでなく異文化コミュニケーションや異文化習慣も深める事ができます。また各国・地域から集まった学生でグループを作り、講義と平行にチームプロジェクトを実施することで、よりリアルな異文化交流・理解を体験できます。 21世紀スキルプログラムでは、国際舞台での活躍に必要なとされるスキル(批判的思考・デジタルテラシーなど)の習得を目指します。 ビジネスとSDGsプログラムでは、世界各国で取り組まれている17項目の開発目標を通して、ビジネスへの生かし方・解決策を学びます。 ダイバーシティ&インクルージョンプログラムでは、多くの一流企業が推進に取り組んでいるこのテーマを、世界各国から集まる仲間と一緒に考えます。 所属学部に関連したコースで学びを深める事も可能ですが、学部とは異なるコースを選び視野を広げる機会にもなります。

<事前・事後研修について>

No.	質問	回答
11	関西大学生同士の交流はありますか。	事前オリエンテーション（8月8日（月）実施予定）と事後振り返りセッション（9月16日（金）実施予定）をオンラインで開催予定です。そこで交流していただくことが可能です。学部を越えた繋がりができるといいですね。
12	事前事後研修は、オンデマンドですが、どのくらいの作業時間が必要ですか。	各5時間を想定しています。リアルタイムで行うオリエンテーションや振り返りセッションのほか、英語の能力テスト、心理面における国際交流効果測定、を予定しております。オリエンテーション以外についてはご自分のスケジュールに合わせて行います。
13	複数のオンラインツール（ZOOM、ImmerseU）を使うとありますが、必要なアプリは何ですか。自宅受講できるものですか。	自宅受講可能です。ImmerseUをメインLMSとして使用します。プログラム開始前にアカウントを作成する必要があります。詳細は参加者決定後、案内いたします。

<活動内容について>

No.	質問	回答
14	完全にオンラインでの活動ですか？どこかに集まったり出かけたりすることはありますか？	オンラインで、全て自宅から受講可能です。コロナウイルス感染拡大防止や、参加者の安全を考慮し、フィールドワークは行いません。
15	プログラムの具体的な作業内容はどのようなものですか。	週2回（各回90分、トータル10回）の講義、講義前後の課題（講師によって分量様々）、グループディスカッション、チームプロジェクトの準備、成果発表等
16	講師やゲストレクチャーはどのような人ですか。	関西大学の専任教員を含めた複数の教員が担当するほか、海外からの外部講師もお迎えします。すべて英語でのレクチャーとなります。
17	活動日は記載されている日だけですか。各講義やプロジェクトの間の空白の期間は何をしますか。	活動日は募集要項に記載されている日程のみですが、各講義やプロジェクト期間は、予習や復習など、自主学習に励んでください。
18	やむを得ない事情でライブ講義を欠席しなくてはいけない場合、どうなりますか。講義の録画を見ることはできますか？	全参加者に、できるだけライブでの参加をお願いしています。やむを得ない事情がある場合は担当者に連絡の上、必ず録画をご覧ください。無断欠席など、素行上の不良が確認された場合は、プログラムへの参加が認められないまたは単位認定がされない場合がありますのでご注意ください。
19	課題提出や事前・事後研修でのテスト受験は必須ですか？	特別な理由がない限り、必須です。やむを得ない理由がある場合、事前に事務局や担当教員に必ず連絡してください。評価は提出物の有無や積極性などを総合的に判断しますので、課題の取り組み具合は評価に影響します。
20	プログラム参加時、きつくてやめたい時にどうやって乗り越えればよいですか？	プログラム参加者からは、「英語が得意でなかったで大変だったが、先生と目標設定ができたのが良かった」、「一人で抱えるのではなく、海外の学生と協力して取り組むことが大切だと学んだ」という声を頂いています。そのため参加前の具体的な目標の設定や、積極的な仲間との交流・協力をを行うことが、プログラムを全うする一歩につながると思います。
21	海外の学生とは、具体的にどのように交流できますか。	海外の学生とオンラインで講義を一緒に受け、そこでのディスカッションやグループワークで交流することができます。また、2週目頃からはグループプロジェクトのチームが決まり、チームメイトとなった海外の学生とはプロジェクト発表に向けての準備を始めます。準備期間のスケジュールや取り組み方法は各グループに任されているため、各自が主体的にはたらきかけていくことが期待されています。

<単位・成績>

No.	質問	回答
22	(自分の) 所属学部の単位になりますか。	すべての活動に参加した上で、プログラム内で指定された提出物を提出し、各学部において総合的に評価され認められた場合、単位認定(合格・2単位)を行います。なお、大学院及び今学期卒業見込みの学部生、休学中の学生については、単位認定されません。また、学部・年次により単位認定の取扱(科目の位置づけや卒業所要単位への算入)が異なりますので、募集要項及びHAND BOOK(大学要覧)を必ず確認してください。
23	春学期の上限まで単位を取っていますが、参加できますか。	参加可能です。本科目は履修制限単位には含まれません。
24	大学院生は単位認定されますか。	参加は可能ですが、単位認定はされません。なお、指導教員とよく相談したうえで申込してください。